

デジタル業務無線の送信平均電力と アンテナVSWR測定を同時測定

通過型パワーセンサ MA24103A

25 MHz ~ 1 GHz, 2mW ~ 150W

無線システムの信頼性維持

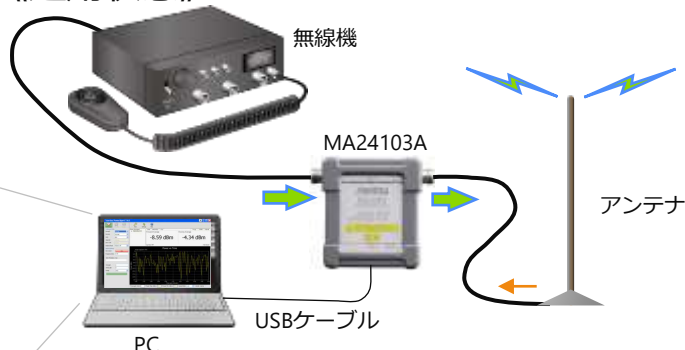
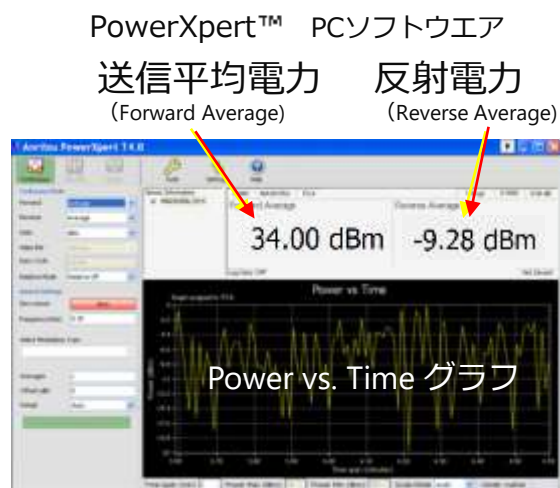
通過型パワーセンサMA24103Aは、25 MHzから1 GHzまでの各種無線機の送信平均電力（最大150W）とアンテナシステムのVSWRや反射電力を同時に測定することができる双方向のセンサです。

CWはもちろん狭帯域デジタル通信（ARIB STD-T61）や市町村デジタル同報通信システム（ARIB STD-T86）など様々な信号*の平均電力を測定でき、無線システム全体の品質を管理・維持するために有効な測定器です。

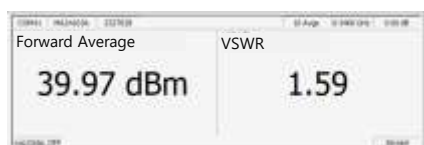
MA24103Aは、MS2720T スペクトラムマスタやPCにUSBケーブルを介して接続して使用します。PCと接続した場合、無償で提供されるPowerXpert™ ソフトウェアから各種設定や測定結果を得ることができます。

* : ARIB STD-T61/79/86/98/102/115など

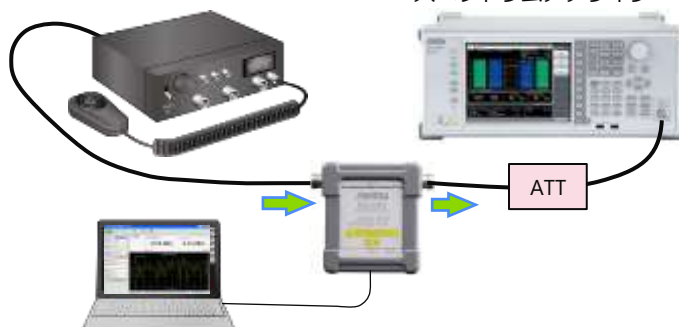
《運用状態》



《登録点検時接続》



▲ 送信平均電力 / VSWR表示



特長

- 通過電力測定：システムのダウンタイムを最小限に抑え、稼働中の無線信号を監視
- 二方向測定：送信電力と反射電力／アンテナ系のVSWRなど測定
- 実効値測定：信号の平均電力測定

主な仕様

項目	仕様
周波数範囲	25 MHz ~ 1 GHz (MA24103A)
送信電力測定レンジ *1, *2	2 mW ~ 150 W (+3 dBm ~ +51.76 dBm)
反射電力測定レンジ	2 mW ~ 150 W (+3 dBm ~ +51.76 dBm)
方向性	≥ 28 dB : 25 MHz ~ < 1 GHz
挿入損失 (代表値)	≤ 0.15 dB : 25 MHz ~ 1GHz

*1: 安定した測定値を得るには、入力電力が100mW (20dBm) 以上を推奨します

*2: 連続波での測定を推奨しますが、パースト波 (例: 周期40ms, 80ms等) を測定する場合は、安定した測定値を得る為に十分なアベレーシング設定を行ってください (例: 100回)

アンリツ ハンドヘルド スペクトラムアナライザ や PCと接続



対応機種：MS2720T, S412E, S331E, S332E,
S361E, S362E, MS2024B, MS2025B,
MS2034B, MS2035B, MS2036C, MW82119B

本資料は、記載内容をおことわりなしに一部変更する場合があります。
また、各測定画面例の数値結果等は保証される値ではありません。規格値はカタログ/データシートをご覧ください。

取扱代理店

国華電機株式会社
KOKKA ELECTRIC CO.,LTD.

本社 TEL: 06-6353-5551 兵庫営業所 TEL: 078-452-3332
京都営業所 TEL: 075-671-0141 姫路営業所 TEL: 079-271-4488
滋賀営業所 TEL: 077-566-6040 姫路中央営業所 TEL: 079-284-1005
奈良営業所 TEL: 0742-33-6040 川崎営業所 TEL: 044-222-1212

メールでのお問い合わせ：webinfo@kokka-e.co.jp

アンリツ株式会社 <https://www.anritsu.com>

通信計測営業本部 営業推進部

TEL: 0120-133-099 / FAX: 046-296-1248

E-mail: SJPost@zy.anritsu.co.jp

弊社提供の資料類は、第三者への移転、輸出及び国外持出しの際には、「外国為替法及び外国貿易法」により日本政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また、米国の「輸出管理規則」により、米政府の再輸出許可を必要とする場合があります。法令に定められた要件に従って取り扱いいただきますようお願いいたします。